

脳梗塞予防は心臓も大事:DOACの適正使用について

脳神経外科 砂田 拓

DOAC(ドアック)と呼ばれる薬剤をご存知でしょうか。Direct Oral Anticoagulantの略称で、日本語では直接経口抗凝固薬と表記され、いわゆる血をサラサラにする内服薬の一種です。これまでの経口抗凝固薬と言えば、ビタミンK拮抗薬であるワルファリンが半世紀にも渡り唯一の経口薬として使用されてきましたが、2011年にDOACの1つであるダビガトランが発売されて以降、現在国内ではリバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンを含め4種類のDOACが販売されています。DOACは主に心房細動(非弁膜症性)と言われる不整脈によって発症する脳梗塞(心原性脳塞栓症)を予防する目的で使用され、これまでの大規模研究でもその有用性が確認されてきています。

一言で脳梗塞と言ってもさまざまなタイプがあり、中でも心原性脳塞栓症は脳梗塞の20~25%を占め、梗塞巣が広範囲で重症になりやすいといった特徴のある怖い病気です。その多くは、先ほど述べた心房細動によって心臓内に血栓が形成され、それが脳血管を閉塞することで発症します。心房細動の有病率は加齢とともに増加を認め、超高齢社会を迎えた本邦では今後も増加していくことが予測されるため、早期発見、早期治療が大切です。心房細動による血栓形成を予防する為に従来使用されてきたワルファリンは、安価ではあるものの、定期的な血液検査で血中濃度のモニタリングが必要であることや、納豆やクロレラなどのビタミンKを多く含む食

物の接種制限、重篤な出血性合併症などの問題がありました。DOACは定期的なモニタリングが不要であり、薬や食事との相互作用も少なく、ワルファリンと比較し頭蓋内出血を含む出血性合併症の危険性が低いいため、現在では主流になりつつあります。ただし、ワルファリンと比較し薬価が高く、腎機能障害があると使用できない可能性があります。また、飲み忘れると効果がすぐなくなるため注意が必要です。

心原性脳塞栓症は突然発症し、命に関わる重大な病気です。また、心房細動は自覚症状がない場合も多くあります。「自分は大丈夫」と安易に考えず、まずは定期的な健康診断などを受けることが大切です。適切な診断の上でDOACの内服を開始した場合は、きっちりと内服を継続することが脳梗塞予防に繋がります。



新入職医師の紹介



高井 聡(たかい さとし)

所属診療科:脳神経外科
趣味:映画鑑賞

患者さまへの一言

患者さんの訴え一つ一つに丁寧に向き合うよう心掛けています。

出身地	奈良県
専門分野	脳卒中外科
認定資格	脳神経外科専門医
所属学会	日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会
興味のある分野	血管内治療

高額療養費制度について

医事課 主任 三宅 直樹

高額療養費制度は、公的医療保険の給付のひとつです。1ヵ月に支払った医療費の自己負担額が被保険者の所得などに応じて設定された自己負担上限額を超えた場合、超えた分が払い戻されます。ただし対象となるのは、公的医療保険が適用される医療費のみです。先進医療の技術料や自由診療にかかる費用、差額ベッド代、食事療養費、交通費などは対象になりません。

事前に限度額適用認定証を申請が可能で、窓口で支払う金額を、自己負担上限額までに抑えられます。

高額療養費制度には、自己負担をさらに軽減するしくみも用意されています。

同じ医療保険に加入する家族の自己負担額を合算できる世帯合算、過去12ヵ月間に3回以上、自己負担上限額に達した場合、4回目から自己負担上限額が引き下げられる多数回該当が用意されています。

高額療養費制度を利用すれば医療費の自己負担額を抑えられるため、安心して治療を受けられます是非ご利用ください。



しわす
師走

一年の締めくくり12月、今年もウィズコロナの一年となりましたが、収束への明るい希望も感じられた年でもありました。

二十節気

小雪
しょうせつ

12/2~6(六十候) 橘始黄 / たちばなはじめてきばむ

不老不死の理想郷「常世の国」から、古代持ち帰ったといわれる「橘」。生命力のある香り高い実です。年末の風物詩「第九(合唱付き)」。昭和20年代、NHK交響楽団が、日比谷公会堂で毎年12月に演奏されたことが始まりです。新しい時代への期待の歌「歡喜に寄す」勇気づけられるメロディーですね。



二十一節気

大雪
たいせつ

12/7~11(六十一候) 閉塞成冬 / そらさむくふゆとなる

「法師達の衣のいろや冬の空」越人。本格的な冬の到来です。京都の冬の行事「大根焚き」。寒さにより甘味の増した大根を醤油の味で炊きます。了徳寺では2日間で3千本もの青首大根が参詣者へ振る舞われます。



12/12~16(六十二候) 熊蟄穴 / くまあなにこもる

熊が冬眠に入る頃、冬将軍と言われるシベリア寒気団の到来、寒さも厳しくなってきます。「難を転じる」という語呂合わせから縁起のよい「南天」。静かな冬の庭に赤い身が美しいですね。実は咳止めのとして、のど飴にも(^ ^)

12/17~21(六十三候) 鰯魚群 / さけのうおむらがる

海で数年かけて成長した鮭が、産卵の為に産まれた川を遡る様子は、昔も今も「?」の心を打ちます。ごちそうの代名詞「すき焼き」。「割下」で牛肉を煮込む関東風と、一度焼いた肉に醤油、砂糖を絡める関西風に分かれます。ちなみに坂本九の「上を向いて歩こう」は「SUKIYAKI」のタイトルで海外でヒット♪これはイギリスのレコード会社社長が、すき焼きのおいしさに感動したからだそうです。



寒さで身体も固まりがちに。手足を軽くほぐしてリラックス♪

二十二節気

冬至
とうじ

12/22~26(六十四候) 乃東生 / なつかれくさしょうず

冬景色の中、夏枯草(うつぼ草)が芽を出します。17世紀にカンボジアから伝えられたので「かぼちゃ」。邪気を祓うと言われる果肉の黄色、同じく邪気を祓う「小豆」と一緒に煮る「冬至カボチャ」はいかがでしょう♪かぼちゃと小豆の「いとこ煮」とも言われますね。材料を「銘々に煮る」を「姪々に煮る」にかけて「いとこ煮」とも。



12/27~31(六十五候) 麋角解 / さわしかのつのおつる

大鹿の角が落ちる頃、一年のカウントダウン、様々な出来事のあった今年も残り少なくなりました。大晦日の夜から元旦にかけて響く108回の「除夜の鐘」。厳かな寺院の鐘の音に、静かにこの一年を思い、新しい年への希望を思い描きます。



一年で昼が最も短かい冬至。太陽が復活する日として古くから世界中で大切な日とされました。



林檎(りんご) りんご物語その1

バラ科リンゴ属落葉高木

美味しいりんご「ふじ」♪母親は「国光(こっこう)」、父親は「デリシャス」です(なつかしいですね)。りんごは8,000年前から栽培され、世界には15,000種もあるといわれます。その中で「ふじ」は世界で最も生産量の多い品種!驚きですね。この「ふじ」が誕生したのが今から80年前の青森県藤崎町です。当時は「国光(こっこう)」「紅玉(こうぎょく)」が主力品種。「ふじ」が1962年デビューしても品種更新をためらう生産者が多い中、バナナが輸入自由化され、高度経済成長で嗜好が豊かになり、りんごの価格が暴落、農家が泣く泣くりんごを山や川に捨てる「山川市場」と語り継がれる出来事が起こりました。それが大きな転機となり、「ふじ」への品種更新が飛躍的に進むこととなりました。



つづく(^ ^)

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	河田
2診	午前	高橋	砂田	角田	高井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊髄・脊髄外来 山本	角田	高井	脊髄・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	—	神経内科 小坂田
	午後	脊髄・脊髄外来 山本	神経内科小坂田 (FUS)	脊髄・脊髄外来 山本	第4週 てんかん 田村 第1・3週 神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2021.12)

連携協力医療機関のご紹介 (No.236)

みんなのクリニック 明石



院長:三井 俊博

【認定資格・所属学会・専門医】日本整形外科学会整形外科専門医
【診療科目】内科全般、糖尿病内科、整形外科全般、スポーツ整形外科

【住 所】明石市魚住町清水1620番地の1 スギ薬局横

【電 話】078-943-3450



診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土	日祝
【午前診】 9:00~12:00 受付(9:00~11:45)	内科/糖尿	○	○	○	○	○	/	/
	整形外科	○	○	○	○	○	○	/
	リハビリ	○	○	○	○	○	○	/
【午後診】 15:30~17:00 受付(15:30~16:45)	内科/糖尿	○	○	/	/	○	/	/
	整形外科	/	○	/	/	○	/	/
	リハビリ	○	○	/	/	○	/	/
【夜診】 17:30~19:00 受付(17:30~18:45)	内科/糖尿	/	/	/	/	/	/	/
	整形外科	○	○	/	/	○	/	/
	リハビリ	○	○	/	/	○	/	/

休診日:水曜・木曜・土曜の午後診と夜診、日曜、祝日

三井院長からのメッセージ

医療法人公仁会が明石仁十病院のサテライトクリニックとして令和3年4月1日にリニューアルオープンしました。各科専門医が地域のかかりつけ医として診察にあたっています。今後も地域の皆様のヘルスケアに努め、愛され、信頼され続けられるクリニックであるように努力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

連携協力医療機関のご紹介 (No.237)

おおが内科クリニック



院長:尾家 伸之

【認定資格・所属学会・専門医】医学博士(神戸大学)、内科学会認定内科医

【診療科目】内科、循環器内科

【住 所】神戸市西区井吹台東町1丁目1-1 西神南センタービル3F

【電 話】078-992-8782



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日

尾家院長からのメッセージ

高血圧、不整脈などの循環器疾患の治療を専門にしています。脂質異常症、糖尿病にも対応しておりますので御相談ください。

公式LINE



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

ホームページ

